

「災害医療」を学ぶ

国際医療福祉大学大学院 大学院生募集
医療福祉学研究科 保健医療学専攻 修士課程

災害医療分野



- **特色 1** 日本で「災害医療分野」を開設している大学院は本大学院だけです。
- **特色 2** 災害対策や支援活動に従事する保健・医療専門職、行政職が対象です。
- **特色 3** 災害時の保健医療での課題を解決していける人材の育成を目指しています。
- **特色 4** 実現実行性のある事業継続計画の策定などの組織貢献が期待できます。

**東京赤坂キャンパスにて
大学院オープンキャンパス開催！**

2019年1月13日（日）

10：00～11：00

大学院オリエンテーション

11：00～12：30

災害医療分野 個別進学相談会

分野責任者・石井美恵子教授による講演会も実施予定です。詳細・お申込み方法はホームページをご確認ください。

◆問い合わせ先◆

■ 学生募集要項の請求・入試等に関するご相談

東京赤坂キャンパス入試事務室

〒107-8402 東京都港区赤坂4-1-26

TEL：03-5574-3903

Mail：daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp

H P：https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/

■ 災害医療分野の教育内容等に関するご相談

石井 美恵子 教授 Mail：m-ishii@iuhw.ac.jp



国際医療福祉大学大学院

INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE GRADUATE SCHOOL

◆分野責任者紹介◆



石井 美恵子 教授

北里大学大学院看護学研究科修士課程修了、富山大学医学薬学教育学部博士課程危機管理医学専攻。北里大学病院救命救急センター等に勤務。同病院在籍中、米国における災害時の行政・医療対応に関する研修修了。日本看護協会、北里大学、東京医療保健大学を経て2018年より現職。
日本災害医学会理事、JICA国際緊急援助隊医療チーム総合調整部会アドバイザー、災害人道支援会（HuMA）アドバイザー、内閣府男女共同参画有識者議員、外務省女性参画推進室女性・平和・安全保障に関する行動計画評価委員。日経WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2012」大賞受賞
主な災害支援活動：03年イランバム地震／04年スマトラ沖地震・津波災害／07年ジャワ島中部地震／08年中国・四川大地震／11年東日本大震災／15年ネパール中部地震／16年熊本地震／18年西日本豪雨災害

◆災害医療分野について◆

災害時の保健医療は、チーム医療の推進や多職種による連携強化が図られるようになりました。そこで、さまざまな保健・医療専門職や行政職等が、災害時の保健医療について系統的に学び、サブスペシャリティとして確立していただける修士課程を開設しました。事業継続計画やマニュアルの策定や見直し、災害訓練の評価方法、教育プログラム開発、組織マネジメントやリーダーシップのあり方などに、探求心と創造力をもって学術的に取り組む分野です。また、災害時の保健医療に関連する学術分野で活躍されている著名な講師陣をお招きして、災害時の保健医療の知識やスキルを包括的に修得できるカリキュラム構成としています。

【**修業年限**】 2年（修士：災害医療学）

【**募集人員**】 10名程度

【**出願資格**】 一般入試の出願資格のいずれかの要件を満たす者で、災害時に危機管理、地域保健、地域防災の業務を推進している者（将来、当該業務に就くことを希望する者を含む）。
※専門学校等を卒業された満22歳以上の方で、本大学院の出願資格審査で大学卒業と同等以上の学力があると認められた方も出願可能です。詳細は募集要項をご確認ください。

【**修了要件**】 30単位以上修得し、必要な研究指導を受け、特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格しなければならない。

科目名	科目の概要・目的
環境防災論・ 環境防災医演習	災害発生の機序を学び、都市災害の特性と人間・社会システムの強化による減災の重要性を学ぶ。
災害医療概論	災害医療についてのトピックス（感染制御、薬剤管理、介護予防・リハビリテーション、心のケア、放射線事故等）をオムニバスで学ぶ。
災害医療特論	災害時の医療について必要な医学的基礎素養、大規模災害の類型、災害時派遣医療の供給体制、災害時のサーベイランスシステムについて学ぶ。
災害危機管理・ 災害危機管理演習	災害発生時の危機管理の意義を理解し、平時の備え、組織マネジメント、コンサルテーション技法、教育手法等を学ぶ。さらに臨機応変に支援者や自分の所属する組織を再編・組織化するためのリーダーシップを学ぶ。
災害危機対応と倫理・法制度	災害や紛争などの被災者（災害弱者を含む）に対する支援活動を行う機関や個人が、現場で守るべき基準を理解するために必要な知識を習得するとともに、災害関連の法制度を理解する。
危機対応倫理演習	IASCガイドラインとPFA、災害とストレス/コミュニケーション技術、支援者支援、BCP策定プロセスについて学び、ディスカッションを行う。
研究課程・研究方法	課題研究に必要な、事例研究のアプローチ方法をベースに、臨床現場や地域社会の課題の抽出から改善策の策定、効果測定・評価までの方法論を学ぶ。
課題研究指導	自分の選んだテーマについて、研究計画の作成から、情報収集、情報分析、調査、報告書の作成までを指導する。

災害医療分野・必修科目

※選択科目については、修士課程共通科目および修士課程各分野の専門科目（履修制限のないもの）から5単位以上修得する。ただし、「修士課程のための研究法入門」及び「統計学入門」は選択必修科目とする。

◆在校生のメッセージ◆



末吉 宏成 さん

所属：北九州市立八幡病院 診療支援部（薬剤師）

災害発生時には、医療専門職としての災害対応に関する知識や実働できる能力が求められます。また、防災基本計画や地域防災計画などの災害医療体制を正しく知った上で、ほかの医療職種や行政関係者の活動内容を承知しておく必要があります。平時における災害対応訓練や災害対策マニュアル、病院の事業継続計画（BCP）をしっかりと準備して、実行可能な体制にしておくことが重要だと考えます。本大学院の災害医療分野では、災害危機対応と倫理・法制度を学び、環境防災、災害危機管理、災害医療、危機対応について講義や演習形式、討論等で学んでいきます。過去の災害対応の教訓から、防ぎえる災害死や災害関連死をなくすことが、災害医療分野で学んでいる私たちに共通の目標となりますが、それぞれ立場の違う学生が課題を持ち合わせて、授業に参加しています。私自身は、災害時における医薬品供給、薬物治療の対応能力の向上、チームにおける多職種連携力の向上など災害医療の底上げに寄与できればと思っています。